

荒波にもまれる ASEAN の物流

～タイを中心とした ASEAN 地域の物流の現状と課題への挑戦～ (Part1)
宿利会長開会挨拶

サクサヤーム・タイ王国運輸大臣閣下、梨田タイ駐劄日本国特命全権大使閣下、ASEAN の皆さま、日本の皆さま、こんにちは。運輸総合研究所（JTTRI）会長の宿利正史です。

本日は、タイ王国運輸省、在タイ日本国大使館、盤谷（ばんこく）日本人商工会議所のご後援を得て、日タイ修好 135 周年記念認定事業、運輸総合研究所アセアン・インド地域事務所開設記念シンポジウム「荒波にもまれる ASEAN の物流～タイを中心とした ASEAN 地域の物流の現状と課題への挑戦～（Part 1）」を開催できますことを大変嬉しく思います。

まず初めに、このシンポジウムの開催のために多大なご協力を賜りましたサクサヤーム運輸大臣閣下、梨田特命全権大使閣下に心から感謝を申し上げます。また、本日特別講演をいただきますチャヤタン・タイ王国運輸次官をはじめ講演者の皆さま、パネルディスカッションにご参加下さるチャックリット・チュラーロンコーン大学ビジネススクール准教授をはじめ学界、官界、産業界の皆さま、そして本シンポジウムをご視聴いただいている皆さまに、厚く御礼を申し上げます。

運輸総合研究所アセアン・インド地域事務所、略称 AIRO 又は JTTRI-AIRO は、昨年、2021 年 4 月に、運輸・観光分野の日本のシンクタンクである運輸総合研究所の 2 箇所目の海外拠点として、タイ王国バンコクに開設されました。

AIRO は、東南アジア及び南アジアの政府・企業の関係者や研究者など多様な皆さまと連携しつつ、東南アジア及び

南アジア諸国の運輸・観光分野のニーズを踏まえたきめ細かな活動を通じ、当研究所のモットーである「世の中の役に立つ」、「使い物になる」貢献を行うことに取り組んでいくこととしております。

その貢献の一端を、本日のシンポジウムが担うこととなります。本日のテーマは「荒波にもまれる ASEAN の物流」です。COVID-19 のパンデミックにより、さらにはロシアのウクライナ侵攻に伴い、世界の社会・経済が大きな影響を受け、グローバルサプライチェーンが混乱し、国際物流が大きく変貌しています。本日のシンポジウムは、まさに、荒波にもまれている ASEAN の物流について、タイを中心に現状を把握し、生じている問題点や課題を議論することを通じ、ASEAN の物流の現状と課題に関する共通の認識と理解を得ることを目指しています。

本日のシンポジウムで得られる ASEAN の物流の問題点や課題については、その改善を図るための研究調査を今後 AIRO において行っていきます。この研究調査を通じて得られた成果に基づき、ASEAN の物流の問題点や課題に対する改善策を提言するため、改めてシンポジウムを開催し、皆様に還元する予定です。

本日のシンポジウム、そしてその後の AIRO の研究調査活動を通じ、今年修好 135 周年を迎えた日本とタイの絆、そして日本と ASEAN 諸国との絆がより一層深まっていくことを期待しています。そのための重要な役割を今後 AIRO がしっかりと果たすことができますよう、AIRO の活動に対する皆様方のご支援・ご協力を切にお願い申し上げます、私からのご挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございます。